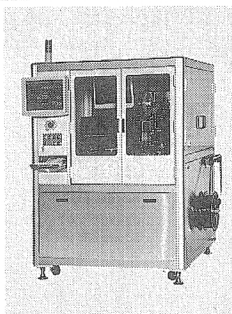


グーピング 作業時間4割短縮

テープ装 アルファードザイン 半導体向け

産業機械メーカーのアルファードザイン（長野県東御市、森沢正良社長）は二十日、半導体の生産に使うグーピング装置の新製品を発売する。シリコンウエハーからICチップをはぎ取って搬送用テープに挿入する「移動ヘッド」を二個搭載。作業時間を同社の従来装置より四割短縮した。価格を抑え、大手半導体メーカーに売り込む。



テープに巻き取り、生産ライン上での搬送をしやすくする。画像でICチップの位置を確かめたり、不良品を見分けたりするなどの検査機能も備える。新商品の「ACT-330」は写真Ⅱは一枚のチップを検査したうえで

テープに巻き取る作業を約〇・九秒でこなす。従来装置は検査と巻き取りを順番に進めるが、新装置は二個の移動ヘッドを使って同時に行う仕組みだ。チップ

の位置や不良品を見分けるカメラは四個まで搭載でき、検査の精度も高めた。

一台あたりの価格は標準モデルで千九百八十万円。従来装置と共通の部品を使うなどで、同等の性能をもつ他社製品より二〇％低く設定した。同社は「一部半導体メーカーの生産が四月以降に持ち直す」（森沢社長）と見込んでおり、年三十台の販売を計画している。

県内製造業

業況、過去最低

1月末 自動車部品

長野県が六日発表した前回調査から一五・〇％県内製造業の景気動向調査によると、一月末時点の業況DIはマイナス九・一・三で、昨年十月末の一七・二で、昨年八月以降で最低水

